

泉崎村 橋梁長寿命化修繕計画



横穴橋
(1972年竣工)

令和6年3月
(令和7年12月一部改訂)

福島県西白河郡泉崎村

一 目 次

I. 様式1-1

※ () は「道路メンテナンス事業補助制度」
における補助要件

1. 長寿命化修繕計画の目的	1	一国土交通省— インフラ長寿命化 基本計画における記載事項
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁	3	1. 対象施設
3. 健全度の把握及び日常的な 維持管理に関する基本方針	5	2. 計画期間
(・老朽化対策における基本方針) (・新技術等の活用方針)		3. 対策の優先順位の考え方 4. 個別施設の状態等
4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替え に係る費用の縮減に関する基本的な方針	7	
(・費用の縮減に関する具体的な方針)		
5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期 及び修繕内容・時期又は架替え時期	14	5. 対策内容と実施時期 6. 対策費用
(・構造物の諸元・直近の点検結果及び次回点検年度) (・対策内容・対策の着手、完了予定年度) (・対策に係る全体概算事業費)		
6. 長寿命化修繕計画による効果	14	
7. 計画策定担当部署及び意見聴取した 学識経験者等の専門知識を有する者	15	

II. 様式1-2

対象橋梁ごとの概ねの次回点検年度
及び対策内容・着手時期又は架替え時期

III. 優先順位一覧表

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 泉崎村の現状

福島県中通り南部に位置する泉崎村は、人口5,969人（2024年2月1日現在）、面積35.4平方kmの村で、面積の約30%が山地に覆われていますが、その他は比較的平坦となり、村の中央部の標高は310m、中心部を東西に流れる泉川の水源に恵まれた水田地帯を形成し、村の南端部は阿武隈川に接しています。村の気候は内陸部にありながら比較的温暖で、降雪期間もわずかとなっています。

村の中央部にはJR東北本線の泉崎駅があるほか、国道4号及び東北自動車道、東北新幹線が村内を南北に通り、県道は3路線が通っています。村周辺には矢吹ICや白河中央SICがあり、その恵まれた交通環境を生かして、村内の工業団地には多くの大型企業が誘致されています。

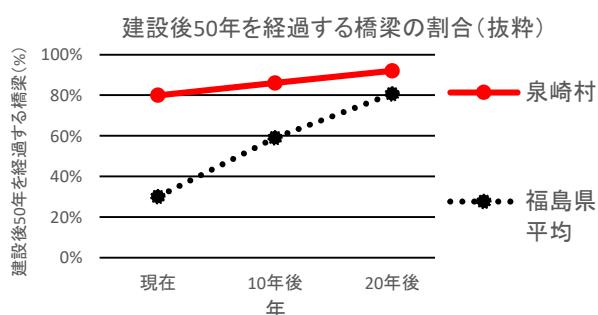
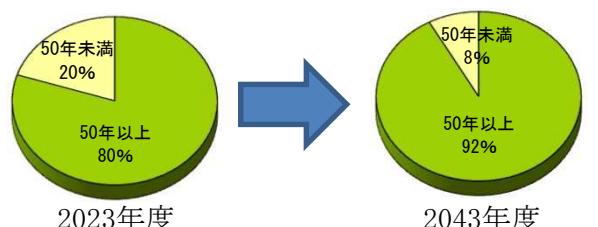
村内には総延長約157kmの管理道路があり、国道4号や県道に通じる生活道路として、また農耕用や流通経路として幅広く利用されています。

村道に架かる橋梁は50橋ありますが、そのうち竣工後50年以上を経過した橋梁が40橋（全体の80%）あることや、5m未満の床版橋やボックスカルバートが26橋（全体の52%）あることが特徴となっています。その他、橋長14.5m以上の橋梁は10橋ありますが、全てが村中心部を流れる泉川に架かっています。

2) 背景

村の管理する橋梁50橋の中で、2023年の時点で建設後50年以上経過する橋梁は、全体の80%を占め、10年後の2033年には86%、20年後の2043年には92%と増加します。

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、従来の事後保全型（対症療法型）の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架け替えに要する費用が増大となることが懸念されます。



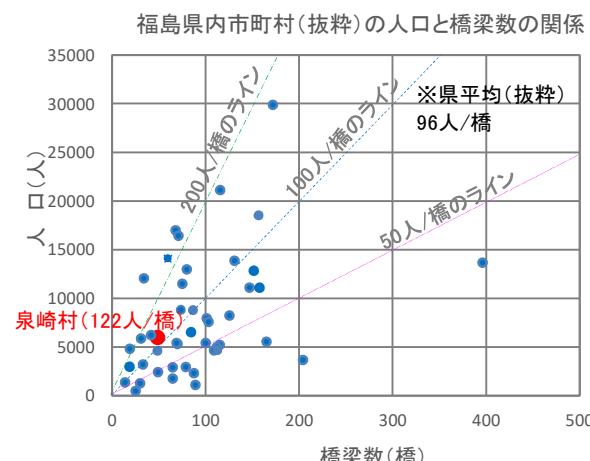
福島県内市町村位置図



近隣町村との比較

村村名	面積 (km ²)	人口 (人)	人口密度 (人/km ²)	橋梁数 (橋)	橋梁の密度 (橋/km ²)	一橋当りの人口 (人/橋)
泉崎村	35.43	5969	168	49	1.4	122
天栄村	225.52	5226	23	115	0.5	45
玉川村	46.67	6187	133	42	0.9	147
矢吹町	60.4	16990	281	68	1.1	250

人口は2024年3月現在

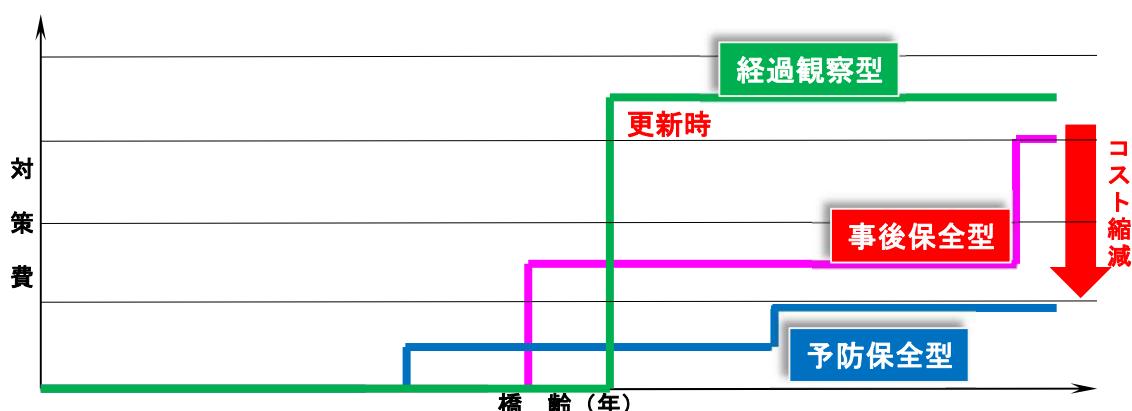
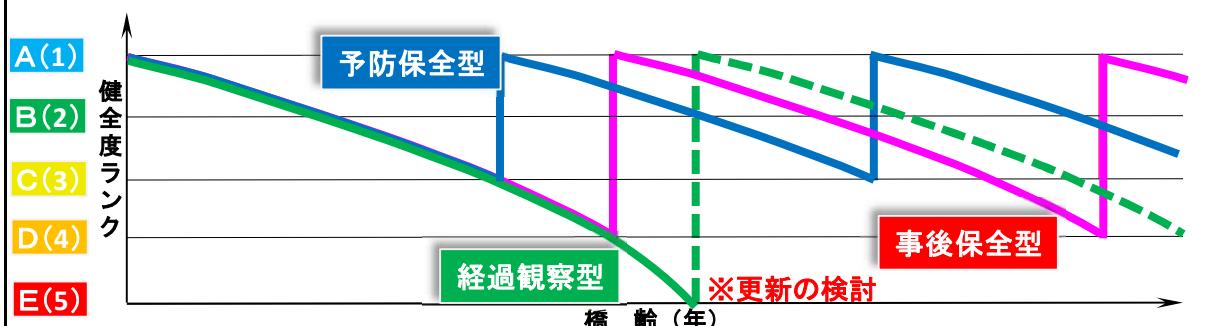


3) 目的

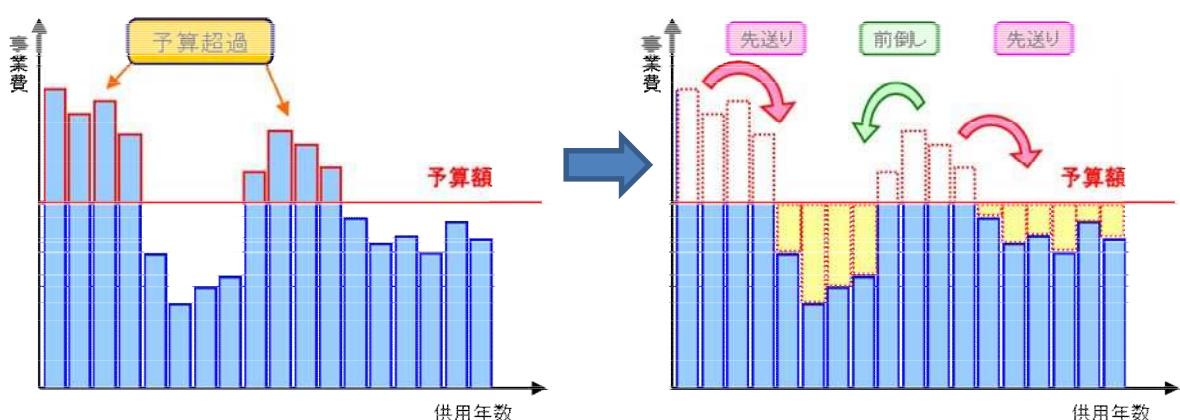
このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となります。

将来にわたり橋梁を保全・維持するためには、費用のかかる架替えが一時期に集中しないように長寿命化修繕計画を策定して、財政負担を低減・平準化する必要があり、コスト縮減のためには、従来の事後保全型（対症療法型）から、“損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う”予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要があります。

そこで泉崎村では、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図るために、橋梁長寿命化修繕計画を策定します。



対策シナリオのイメージ



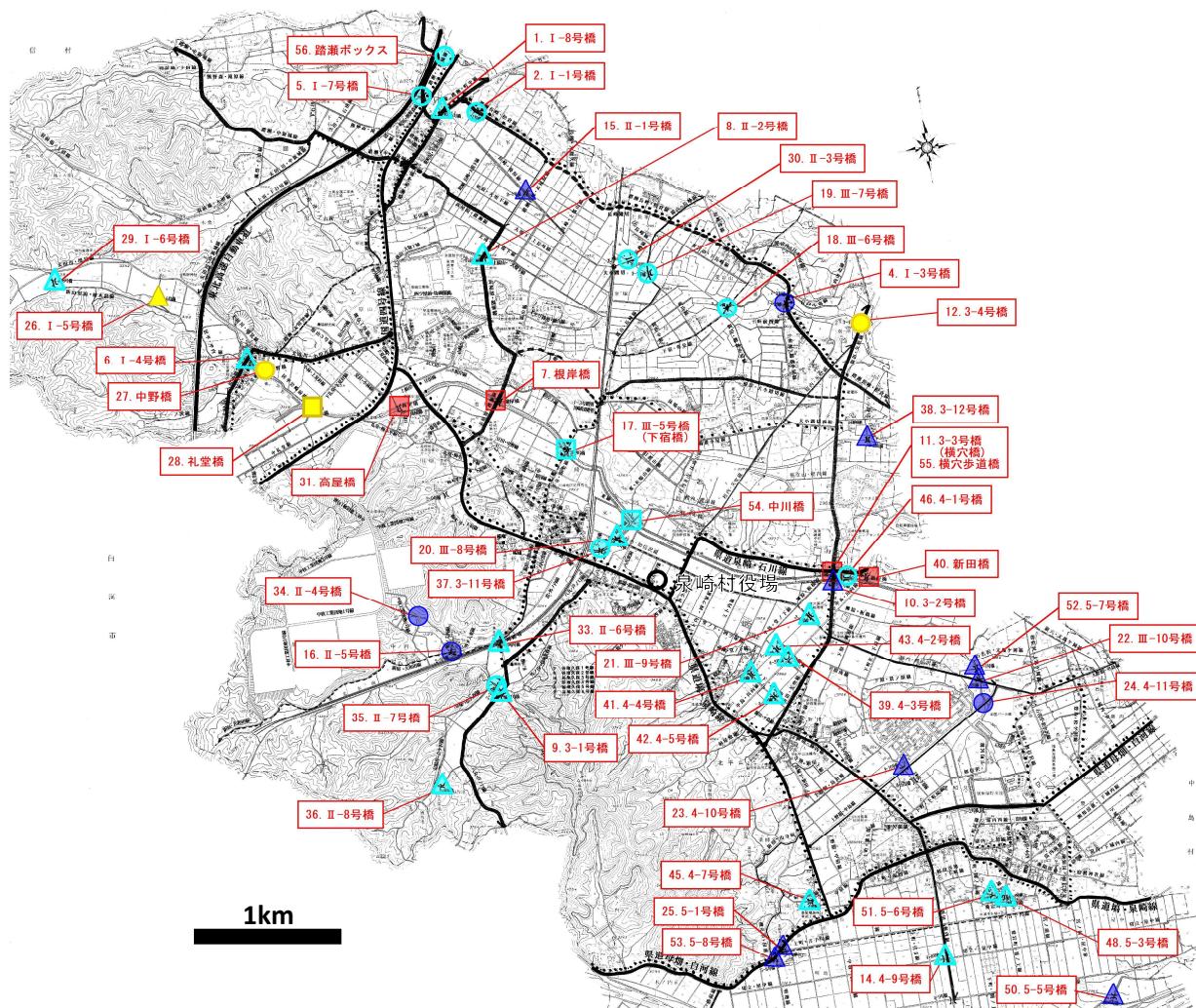
予算平準化のイメージ

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

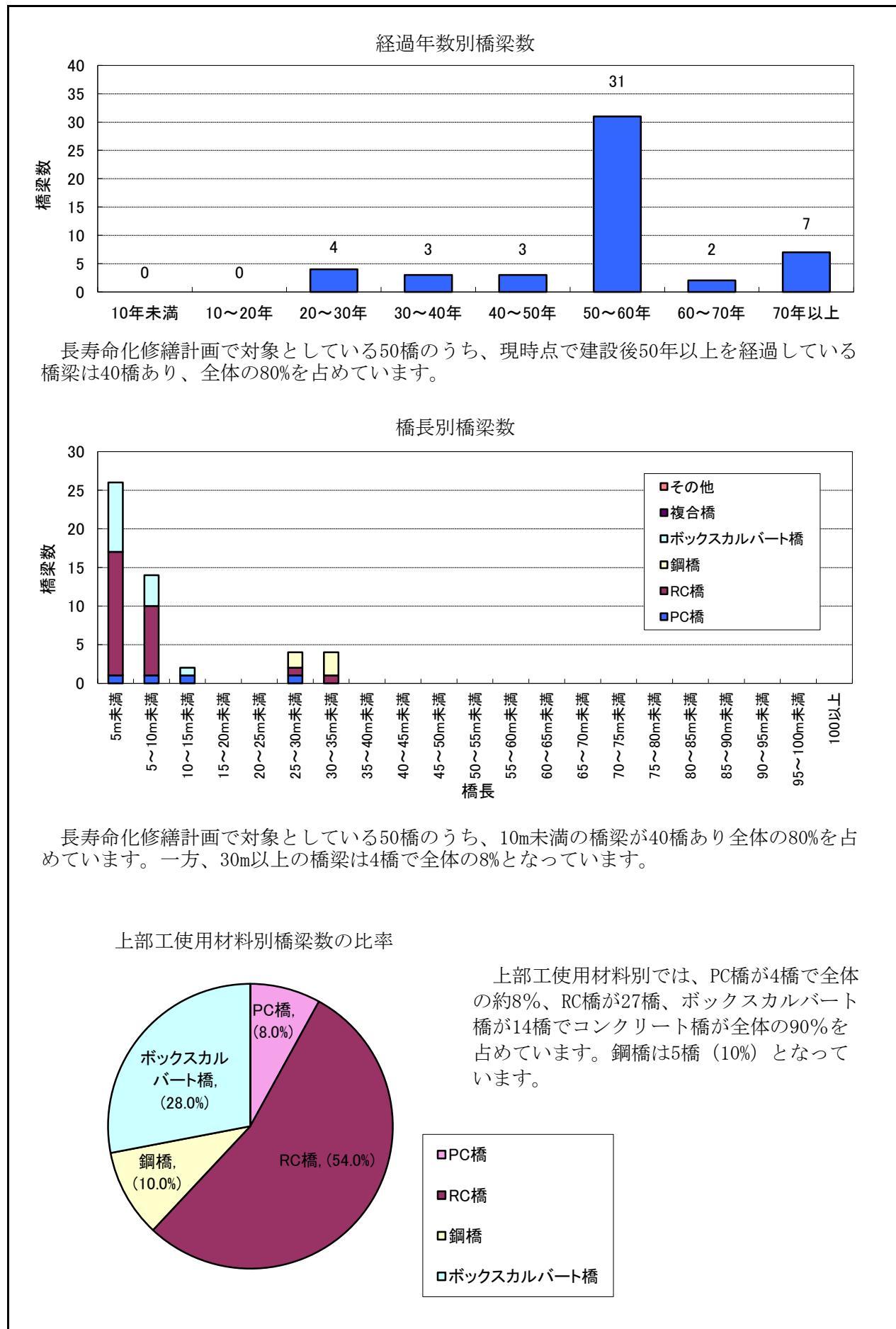
(1. 対象施設)

	村道 1級	村道 2級	村道 その他	合計
全管理橋梁数	13	11	26	50
うち計画の対象橋梁数	13	11	26	50
うちこれまでの計画策定橋梁数	0	0	0	0
うち2023年度計画策定橋梁数	13	11	26	50

長寿命化修繕計画の対象：泉崎村が管理する橋長2.0m以上の橋梁全50橋を対象とします。



対象橋梁位置図（計50橋）



3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針 (2. 計画期間)

1) 健全度の把握の基本的な方針

(・老朽化対策における基本方針)

健全度の把握については、国土交通省道路局の「道路橋定期点検要領」（平成31年2月）に基づいて、専門技術者による5年に1回の定期点検及び健全性の診断や、必要に応じて行う詳細点検により、各部材の劣化や損傷の程度などを早期に把握します。

(・新技術等の活用方針)

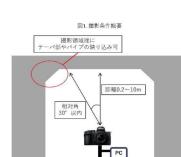
定期点検では、新技術情報提供システム（NETS）や点検支援技術性能カタログなどを参考に、有用な新技術の活用を検討していきます。特に2巡目点検において、損傷が無しまして軽微で、判定区分が「I」となった床版橋や溝橋等の小スパン橋梁については、AI診断等の活用を検討し費用の縮減やとりまとめ作業の効率化に努めています。その他、3巡目点検時においては、1橋程度について画像解析等の新技術の活用を目指し、検討していきます。

【新技術等の活用に関する短期的な数値目標】

令和10年度までの次回点検時に、前回「I」判定の小規模（橋長5m程度）橋梁1橋程度について、画像解析、AI診断等の新技術を活用し、7万円/橋程度のコスト縮減を目指します。



ドローンによる桁下の点検



デジタルカメラによる溝橋の点検



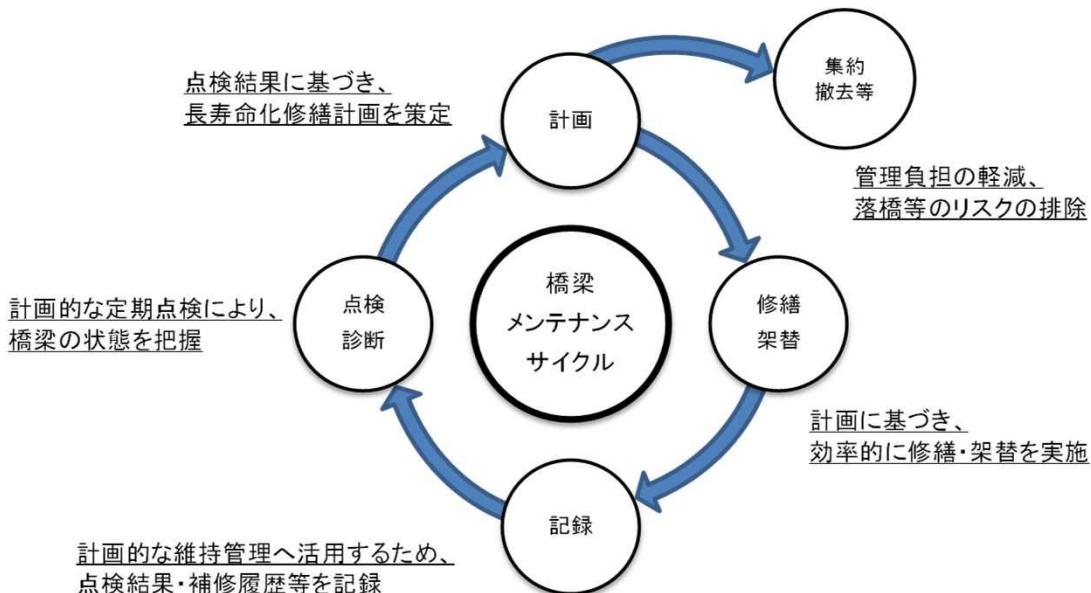
AI・画像診断

橋梁点検における新技術の活用例：（出典）国土交通省「点検支援技術性能カタログ」

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

利用者の安全性の確保及び橋梁を良好な状態に保つために、村職員及び委託業者によるパトロールを実施し、排水枠清掃や舗装の軽微な補修等の日常的な維持管理を行います。

橋梁メンテナンスサイクル 概念図

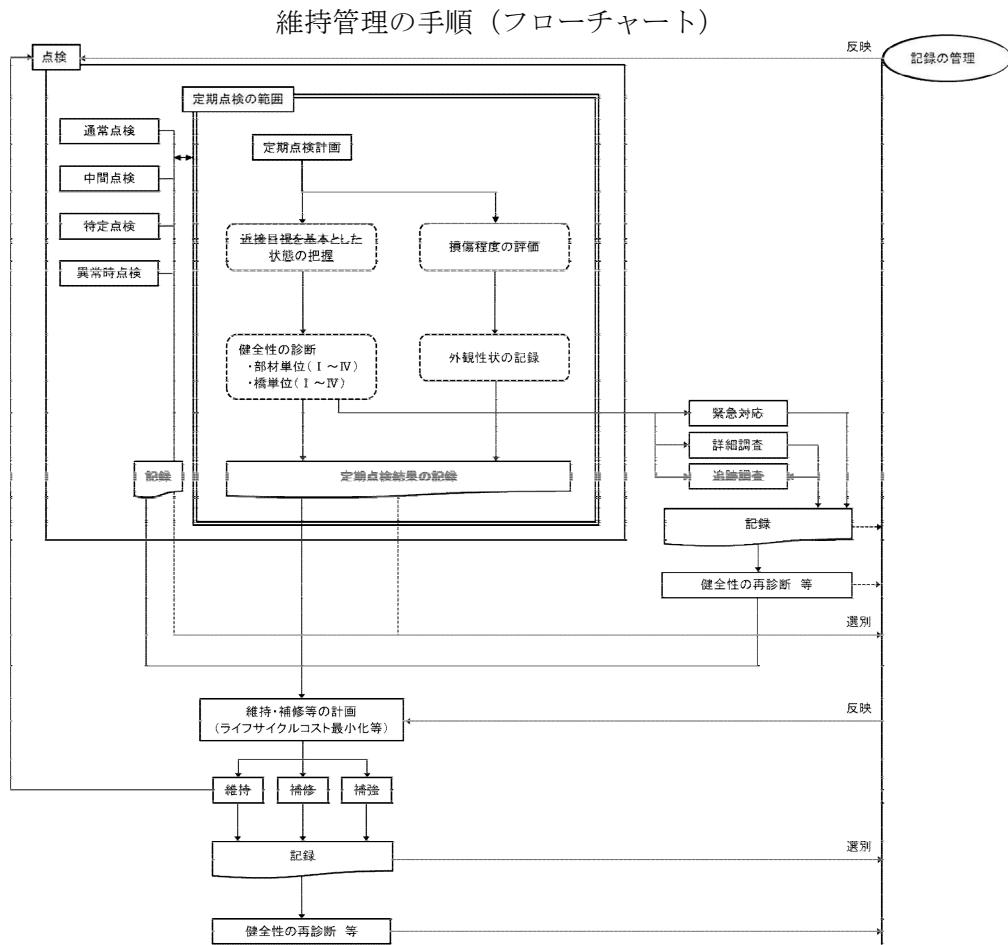


3) 計画期間

5年に1回の定期点検結果を基に中長期的な予測を行い、今後50年間の橋梁長寿命化修繕計画を策定します。（計画期間：2024年～2073年）

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

参考：橋梁維持管理の基本的な考え方



出典：橋梁定期点検要領（国土交通省 道路局 国道・技術課、H31.3）を一部修正

点検の種類

通常点検	突然に生じる不具合や損傷を早期に発見するために、高い頻度で行われる点検。日常巡回やパトロールと合わせて行ったり、巡回やパトロールそのものがこれを兼ねるものと位置づけられる場合もある。
定期点検	橋梁の損傷状況の把握及び健全性の診断をあらかじめ頻度を定めて計画的に実施する詳細な点検。全ての部材に近接して目視調査を行うことが基本であり、必要に応じて非破壊検査機器なども用いて必要な情報を得る。
中間点検	定期点検を補うために、定期点検の中間に実施するもので、定期点検時に、次回の定期点検まで待たずに途中で状態確認を行うことが必要と判断された場合に計画される。
臨時点検	塩害やアルカリ骨材反応、鋼部材の疲労等の定期点検のみでは適切かつ十分な評価が困難な特定の事象に対して、定期点検とは別に、それぞれの事象に特化した内容によって行われる点検。
異常時点検	地震、台風、集中豪雨、豪雪等の災害や大きな事故が発生した場合などに、橋梁の状態を確認するために臨時に行われる点検。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針 (3. 対策の優先順位の考え方)

泉崎村が管理する橋梁の中で、架設後30年以上経過した橋梁は全体の92%を占めているため、近い将来一斉に架替時期を迎ることが予想されます。したがって、計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を100年以上とすることを目標とし、修繕及び架替えに要するコストを縮減します。

1) 管理区分の設定

修繕計画策定にあたり、以下の表に示す橋梁の諸元情報（橋長や幅員等）や重要度を考慮した管理区分を橋梁毎に設定します。

管理区分の定義

管理区分	該当橋梁	補修時期	寿 命	点検方法		簡易予防保全	
				日常巡回 ※2	橋梁点検 (1回/5年) ※3	橋面洗浄	桁洗浄
S 本格予防保全型	・跨線橋 ・跨道橋 ・橋長100m以上 ・重要度(※1) 該当3つ	健全度ランクD(4) にしない	原則架替え は行わない	○	○	② ※4	②
A 予防保全型	重要度該当2つ	健全度ランクD(4) にしない	100年	○	○	⑤	⑤
B 事後保全型	重要度該当0 または1つ	健全度ランクE(5) にしない	60年	○	○		⑤
C 経過観察型	・重要度該当0 かつ ・カルバート橋 ・5m未満橋梁 ・仮橋 ・橋梁以外の形式	健全度ランクE(5) になるまで	耐用年数 まで	○	○		
備 考	※1「重要度」 ①緊急輸送路 ②1.2級市町村道 ③バス路線		特殊橋梁は 橋梁ごとに 設定	※2「日常巡回」は、排水樹の 清掃及び省座面の堆積土砂 除去を実施(費用は計上せ ず) ※3橋梁点検費用は計上		※4簡易予防保全費用を橋梁ごと に計上する ②:2年に1回 ⑤:5年に1回	

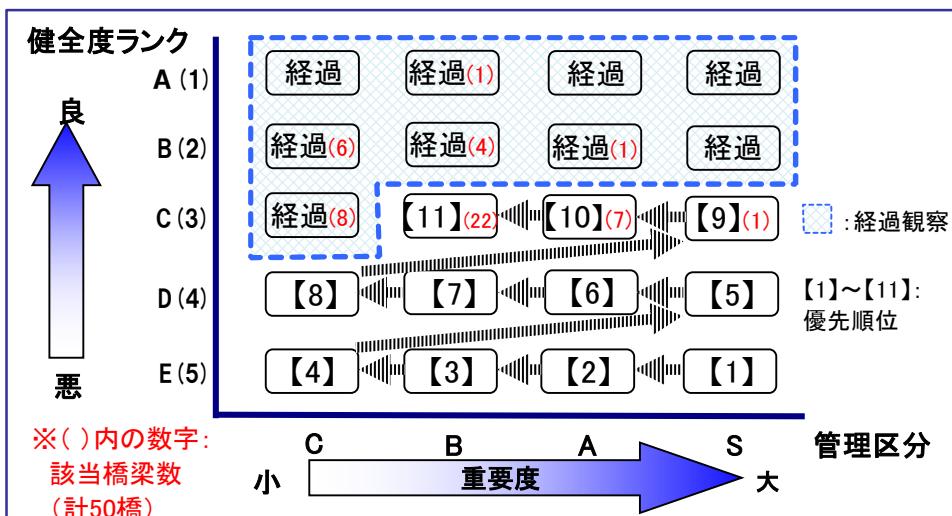
(・費用の縮減に関する具体的な方針)

村の管理する橋梁について集約・撤去を検討した結果、緊急輸送路及び1・2級村道、バス路線等の重要かつ利用者の多い路線であること、地区によっては迂回路が無い、または、最短の迂回路を通行した場合でも約5km(約10分)の迂回を要する路線であること等により、住民の社会活動や緊急時等に大きな影響を与えるため、現時点では集約・撤去を行うことが困難な状況となっています。今後は令和6年度より実施予定である定期点検3巡目以降の結果や利用状況等を踏まえ、必要に応じて集約・撤去を検討していきます。

また、1m程度の水路を跨ぐ小規模橋梁については、対策が必要となった時点で、横断暗渠等への架け替えを検討して、補修費や点検費等の縮減に努めます。※検討橋梁：3-1号橋、4-3号橋、4-4号橋、4-5号橋、4-7号橋、4-9号橋、5-3号橋、I-6号橋、II-2号橋。

2) 優先順位のつけ方

優先順位は以下の図により管理区分と主要部材の健全度の関係から決めるものとします。



3) 橋梁毎の点検結果 (4. 個別施設の状態等)

泉崎村は、令和元年度～令和5年度に、近接目視による定期点検及び橋梁毎の健全性の診断を行いました。橋梁毎の点検結果は以下のとおりです。

定期点検結果一覧 (計50橋)

番号	橋梁名	橋長(m)	径間数	上部工 使用材料	上部工 構造形式	車道幅員 (m)	竣工年	経過年	管理区分	前回 判定区分	今回 判定区分	今回 健全度 ランク	部材 種別	損傷種別
10	3-2号橋	3.63	1	RC橋	BOXカルバート	7.80	1972	52	S	II	II	C(3)	頂版,側壁,底版	【R5設計済】頂)ひびわれ,遊離石灰,移動,側)ひびわれ,遊離石灰,底)移動
11	横穴橋	34.85	1	鋼溶接橋	I桁	8.00	1972	52	A	II	II	C(3)	床版,下部工	床)ひびわれ,下)ひびわれ,遊離石灰
2	I-1号橋	6.60	1	RC橋	RC中実床版	9.00	1954	70	A	II	II	C(3)	床版,下部工	床)ひびわれ,下)ひびわれ,剥離,欠損
6	I-4号橋	4.00	1	RC橋	RC中実床版	5.55	1965	59	A	II	II	C(3)	床版,下部工	床)鉄筋露出,うき,下)ひびわれ,剥離,遊離石灰,うき,欠損
1	I-8号橋	4.00	1	RC橋	RC中実床版	5.60	1954	70	A	II	II	C(3)	下部工	ひびわれ,漏水,欠損
4	I-3号橋	8.39	1	RC橋	BOXカルバート	8.40	1984	40	A	II	II	C(3)	頂版,側壁	頂・側)ひびわれ,遊離石灰
12	3-4号橋	7.30	1	PC橋	PC床版橋	9.20	1972	52	A	II	II	C(3)	下部工	ひびわれ,剥離,欠損
23	4-10号橋	2.86	1	RC橋	BOXカルバート	7.50	1966	58	A	II	II	C(3)	頂版,側壁	頂)ひびわれ,遊離石灰,側)ひびわれ
55	横穴歩道橋	34.95	1	鋼溶接橋	I桁(合成)	3.00	1990	34	B	II	II	C(3)	床版,下部工	床)ひびわれ,遊離石灰,下)ひびわれ
40	新田橋	33.45	2	鋼溶接橋	H形鋼	5.00	1967	57	B	II	II	C(3)	横桁,床版,下部工	横)腐食,防食機能の劣化,床)ひびわれ,鉄筋露出,うき,下)洗掘
17	下宿橋	30.40	2	RC橋	RC桁橋	6.00	1965	59	B	II	II	C(3)	主桁,横桁,下部工	主)ひびわれ,横)鉄筋露出,うき,下)鉄筋露出,欠損
28	礼堂橋	27.20	2	PC橋	PC床版橋	4.00	1968	56	B	II	II	C(3)	床版,下部工	床)遊離石灰,下)ひびわれ,遊離石灰
54	中川橋	26.84	2	RC橋	RC桁橋	6.00	1966	58	B	II	II	C(3)	主桁	ひびわれ
24	4-11号橋	7.02	2	RC橋	BOXカルバート	8.00	1966	58	B	II	II	C(3)	頂版,側壁	頂)ひびわれ,遊離石灰,側)ひびわれ,遊離石灰,欠損,隔)ひびわれ,鉄筋露出
31	高屋橋	26.70	2	鋼溶接橋	H形鋼	2.00	1968	56	B	II	II	C(3)	主桁,横桁,床版,下部工	主・横)腐食,防食機能の劣化,床)鉄筋露出,うき,下)ひびわれ,遊離石灰
19	III-7号橋	5.40	1	RC橋	RC中実床版	4.00	1954	70	B	II	II	C(3)	床版,下部工	床)ひびわれ,鉄筋露出,うき,下)欠損,崩落
18	III-6号橋	5.20	1	RC橋	RC中実床版	3.50	1954	70	B	II	II	C(3)	床版,下部工	床)鉄筋露出,下)遊離石灰,欠損
20	III-8号橋	3.60	1	RC橋	RC中実床版	5.06	1967	57	B	II	II	C(3)	床版,下部工	床)ひびわれ,鉄筋露出,遊離石灰,下)欠損,うき
46	4-1号橋	5.60	1	RC橋	RC中実床版	3.70	1972	52	B	II	II	C(3)	床版,下部工	床)遊間の異常,下)欠損
45	4-7号橋	2.10	1	RC橋	RC中実床版	7.55	1972	52	B	II	II	C(3)	下部工	欠損
30	II-3号橋	6.02	1	RC橋	RC中実床版	3.50	1982	42	B	II	II	C(3)	床版,下部工	床)鉄筋露出,うき,遊間の異常,下)欠損
14	4-9号橋	2.08	1	RC橋	RC中実床版	5.02	1955	69	B	I	II	C(3)	下部工	遊離石灰,崩落
9	3-1号橋	2.58	1	RC橋	RC中実床版	5.50	1973	51	B	II	II	C(3)	下部工	遊離石灰,隙間:移動
35	II-7号橋	7.00	2	RC橋	RC中実床版	2.50	1996	28	B	II	II	C(3)	床版,下部工	床)鉄筋露出,うき,下)遊離石灰,欠損
21	III-9号橋	3.40	1	RC橋	RC中実床版	5.30	1967	57	B	I	II	C(3)	下部工	欠損
27	中野橋	11.90	1	PC橋	PC桁橋	5.25	1972	52	B	II	II	C(3)	床版	漏水・遊離石灰
22	III-10号橋	4.60	1	RC橋	BOXカルバート	7.00	1976	48	B	II	II	C(3)	頂版,側壁,隔	頂)ひびわれ,漏水,鉄筋露出,側)ひびわれ,隙間,隔)ひびわれ,隙間,土砂
25	5-1号橋	3.00	1	RC橋	BOXカルバート	3.40	1970	54	B	II	II	C(3)	側壁	欠損
43	4-2号橋	5.05	1	RC橋	RC桁橋	5.00	1972	52	B	II	II	C(3)	主桁	鉄筋露出,欠損,遊間の異常
15	II-1号橋	2.39	1	RC橋	BOXカルバート	5.50	1955	69	B	II	II	C(3)	頂版,側壁	頂)遊離石灰,欠損,側)遊離石灰,欠損,隙間:移動
26	I-5号橋	3.22	1	PC橋	プレテンT桁	4.15	1965	59	C	II	II	C(3)	主桁,横桁,下部工	主)ひびわれ,漏水,隙間,欠損,横)定着部異常(腐食),下)ひびわれ
38	3-12号橋	2.41	2	RC橋	BOXカルバート	2.20	1972	52	C	II	II	C(3)	頂版	【R3側壁補修済】ひびわれ
41	4-4号橋	2.36	1	RC橋	RC中実床版	4.00	1972	52	C	II	II	C(3)	床版	欠損
53	5-8号橋	2.60	1	RC橋	BOXカルバート	4.00	1972	52	C	II	II	C(3)	側壁	欠損
51	5-6号橋	2.30	1	RC橋	RC中実床版	4.00	1972	52	C	II	II	C(3)	下部工	欠損
39	4-3号橋	2.23	1	RC橋	RC中実床版	5.49	1972	52	C	II	II	C(3)	下部工	漏水,欠損
42	4-5号橋	2.20	1	RC橋	RC中実床版	3.70	1972	52	C	II	II	C(3)	下部工	欠損
34	II-4号橋	6.70	1	RC橋	BOXカルバート	9.40	1994	30	C	II	II	C(3)	側壁,底版	ひびわれ
7	根岸橋	27.60	1	鋼溶接橋	I桁	7.52	1995	29	A	I	I	B(2)	床版,下部工	主・対・横)腐食,防食劣化,床)ひびわれ,遊離石灰,下)ひびわれ,遊離石灰
5	I-7号橋	6.50	1	RC橋	RC中実床版	6.50	1954	70	B	I	I	B(2)	床版,下部工	床)剥離,下)ひびわれ,欠損
48	5-3号橋	2.20	1	RC橋	RC中実床版	5.00	1972	52	B	I	I	B(2)	床版,下部工	床)ひびわれ,鉄筋露出,下)ひびわれ,剥離,欠損
16	II-5号橋	5.30	1	RC橋	BOXカルバート	9.00	1951	73	B	I	I	B(2)	頂版,側壁,底版	頂)ひびわれ,剥離,漏水,欠損,側)ひびわれ,漏水,欠損,底)欠損
8	II-2号橋	2.32	1	RC橋	RC中実床版	3.00	1954	70	B	I	I	B(2)	床版	鉄筋露出,欠損
29	I-6号橋	2.20	1	RC橋	RC中実床版	4.00	1965	59	C	I	I	B(2)	床版,下部工	床)剥離,下)ひびわれ,欠損
56	踏瀬ボックス	10.16	1	RC橋	BOXカルバート	5.60	2000	24	C	-	I	B(2)	頂版,側壁	頂)ひびわれ,側)ひびわれ
36	II-8号橋	3.73	1	RC橋	RC中実床版	2.50	1972	52	C	I	I	B(2)	床版,下部工	床)ひびわれ,剥離,欠損,下)漏水,遊離石灰
52	5-7号橋	2.90	1	RC橋	BOXカルバート	4.90	1972	52	C	I	I	B(2)	頂版,側壁,底版	頂)ひびわれ,側)ひびわれ,鉄筋露出,欠損,底)鉄筋露出
33	II-6号橋	3.10	1	RC橋	RC中実床版	3.60	1989	35	C	I	I	B(2)	下部工	ひびわれ,遊離石灰
50	5-5号橋	4.70	1	RC橋	BOXカルバート	4.00	2001	23	C	I	I	B(2)	頂版,側壁	頂・側)ひびわれ
37	3-11号橋	5.60	1	RC橋	RC中実床版	4.00	1967	57	B	I	I	A(1)	-	-

定期点検による判定区分と修繕計画健全度ランクの関係（計50橋）

区分	状態	健全度ランク	判定区分	備考	該当橋梁数	割合
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態	A (1)	健全	損傷が認められない	1橋 2%
II	予防保全段階		B (2)	対策不要	損傷が軽微で補修を行う必要がない	11橋 22%
III	早期措置段階		C (3)	状況に応じ早めに対策	状況に応じて補修を行う必要がある	38橋 76%
IV	緊急措置段階		D (4)	早急に補修必要	速やかに補修を行う必要がある	0橋 0%
			E (5)	緊急対応の必要	緊急対策の必要がある	0橋 0%
					50橋	100%

4) 主要部材の損傷状況及び対策優先度の考え方について（4. 個別施設の状態等）

以下に対策優先度が比較的高いと考えられる橋梁を抜粋します。

判定区分[II]・健全度[C(3)]の橋梁（抜粋：1/2）



10. 3-2号橋：ボックスカルバート橋、橋長:3.63m、1径間、1972年竣工(52年経過)。

1級村道新田・矢吹線、管理区分[S]、判定区分[II]、健全度ランク[C(3)]。

頂版及び側壁に一部遊離石灰を伴うひびわれが見られる。

令和5年度補修設計済、令和7年度補修工事予定。

本橋は2車線の1級村道及び村指定の緊急輸送路に位置して交通量、利用者が多く、村道(農道)と交差することから重要性が高いため、優先的に予防保全措置を行う。



11. 横穴橋（3-3号橋）：鋼I桁橋、橋長:34.85m、1径間、1972年竣工(52年経過)。

1級村道新田・矢吹線、管理区分[A]、判定区分[II]、健全度ランク[C(3)]。

床版に一部遊離石灰を伴うひびわれが見られる。

令和6年度詳細調査・補修設計予定、令和8年度以降補修工事予定。

本橋は2車線の1級村道及び村指定の緊急輸送路に位置し、国指定史跡の泉崎横穴に近い。交通量、利用者が多く、泉川に架かり橋長も長いことから重要性が高いため、優先的に予防保全措置を行う。

判定区分[Ⅱ]・健全度[C(3)]の橋梁（抜粋：2/2）



起点側



左 側
終点 起点



床版下面のひびわれ(幅0.7mm)

55. **横穴歩道橋**：鋼I桁橋、橋長:34.95m、1径間、1990年竣工(34年経過)。

1級村道新田・矢吹線、管理区分[B]、判定区分[Ⅱ]、健全度ランク[C(3)]。

床版下面に一部遊離石灰を伴うひびわれが見られる。

本橋は横穴橋の側道歩道橋である。国指定史跡の泉崎横穴に近く、また中学校の通学路として利用者が多く、泉川に架かり橋長も長いことから重要性が高いため、横穴橋と併せて予防保全措置を行うことが望ましい。



起点側



右 側
起点 終点



主桁のひびわれ(幅0.45mm)

17. **下宿橋（III-5号橋）**：RCT桁橋、橋長:30.40m、2径間、1965年竣工(59年経過)。

2級村道下宿・弥栄線、管理区分[B]、判定区分[Ⅱ]、健全度ランク[C(3)]。

主桁に一部遊離石灰を伴うひびわれが見られる。

本橋は2級村道に位置し、幅員が広く交通量、利用者が多く、泉川に架かり橋長も長いことから重要性が高いため、計画的に予防保全措置を行うことが望ましい。



起点側



左 側
終点 起点



下部工のひびわれ(幅1.0mm)、剥離

2. **I-1号橋**：RC中実床版橋、橋長:6.60m、1径間、1954年竣工(70年経過)。

1級村道踏瀬長峰・松倉線、管理区分[A]、判定区分[Ⅱ]、健全度ランク[C(3)]。

下部工にひびわれ、表面剥離、欠損が見られる。

本橋は1級村道に位置し、バス路線であり、幅員が広く交通量、利用者が多いことから重要性が高いため、計画的に予防保全措置を行うことが望ましい。

5) 長寿命化修繕計画上の寿命設定について

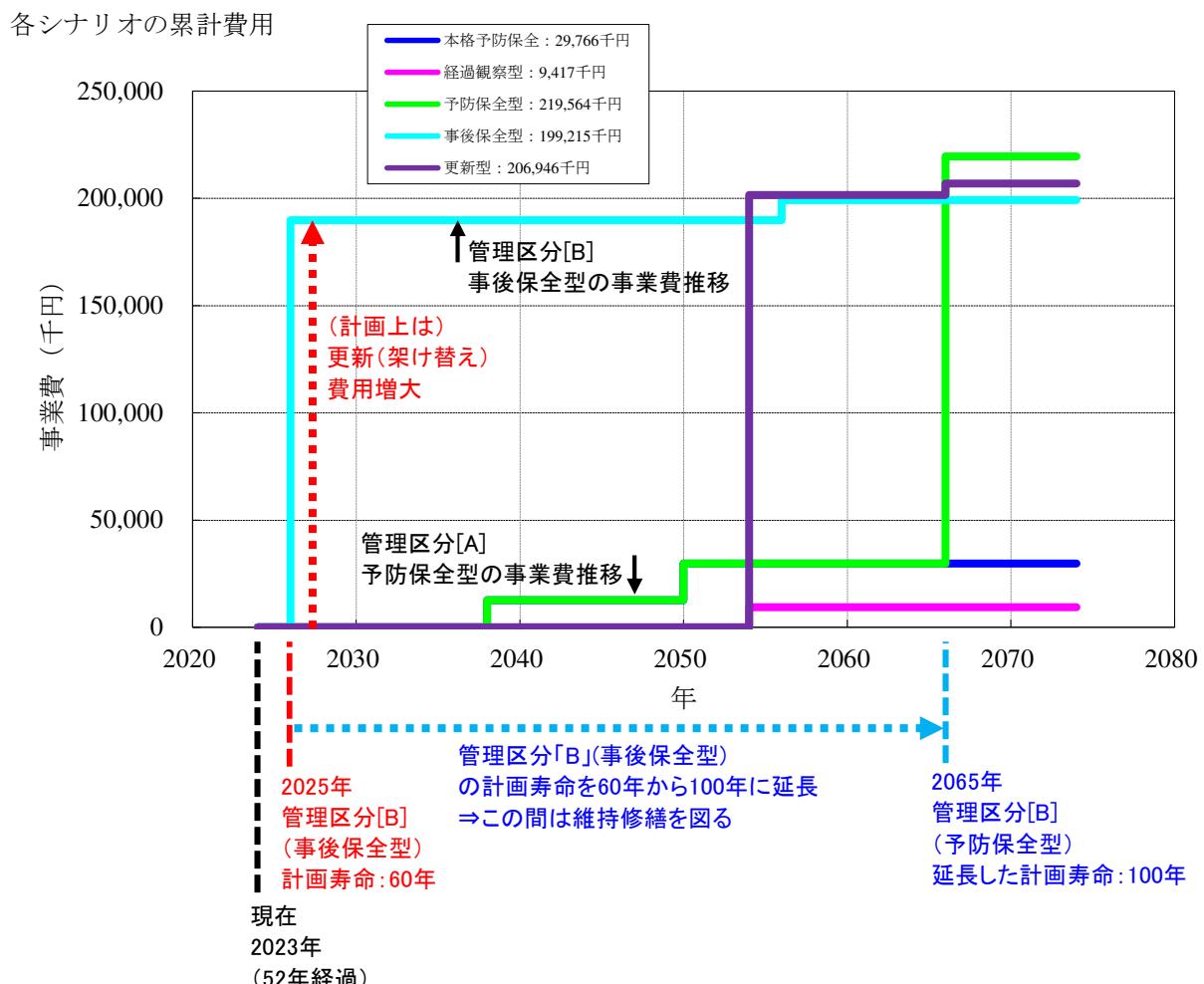
管理区分[B] (事後保全型)の橋梁は、管理区分設定の条件となる重要度指標項目が0または1つである橋梁と定義され、計画上の寿命設定(計画寿命)を「60年」としています。

泉崎村における管理区分[B]の橋梁計27橋のうち、供用後50年以上を経過している橋梁は23橋あり、10年以内に計画寿命を迎えるため、計画上は「更新(架け替え)」が必要となり、費用が増大することになります。しかし、現時点での定期点検の判定区分は[I]または[II]であることから、当面は60年を超えて供用可能と考えられます。

上記を考慮し、管理区分[B]の計画寿命を60年から100年に延長して設定し、また、この変更と併せて、管理区分[A] (予防保全型)の計画寿命を100年から150年に延長して設定しました(下図: 54. 中川橋の例参照)。

54. 中川橋の事業費の推移

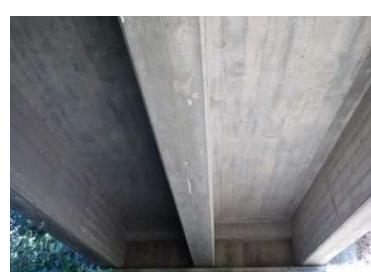
RCT桁橋、橋長:26.84m、2径間、1966年竣工(58年経過)、管理区分[B]、判定区分[II]



起点側



左側



桁下 (A1橋台側)

54. 中川橋: RCT桁橋、橋長:26.84m、2径間、1966年竣工(58年経過)
村道 桁内・踏切線、管理区分[B]、判定区分[II]、健全度ランク[C(3)]

6) 管理区分の変更について

管理区分[B]（事後保全型）の橋梁において、「①1・2級道路」、「②バス路線」、「③橋長14.5m以上かつ車道幅員5m超」のいずれかに該当する以下の18橋は、利用者が多く村の重要な橋梁と位置付けられ、今後も重点的な維持管理が必要な橋梁であるため、管理区分[A]（予防保全型）に変更し、予防保全型の維持管理を行って延命化・LCCの縮減を図ります。

【管理区分[A]（予防保全型）に変更する橋梁（計18橋：当初管理区分[B]）】

（「①1・2級道路」、「②バス路線」、「③橋長14.5m以上かつ車道幅員5m超」）

・判定区分[II]・健全度[C(3)]：14橋。

55. 横穴歩道橋①、17. 下宿橋①、54. 中川橋③、24. 4-11号橋①、19. III-7号橋①

18. III-6号橋①、20. III-8号橋①、45. 4-7号橋②、14. 4-9号橋①、9. 3-1号橋①

27. 中野橋②、22. III-10号橋①、25. 5-1号橋①、15. II-1号橋①。

・判定区分[I]・健全度[B(2)]：4橋。

5. I-7号橋①、48. 5-3号橋②、16. II-5号橋①、8. II-2号橋①。



起点側



左側

55. 横穴歩道橋①

鋼I桁橋

橋長:34.95m、幅員3m

1径間

1990年竣工(34年経過)

1級村道新田・矢吹線

判定区分[II]

健全度ランク[C(3)]



起点側



右側

17. 下宿橋（III-5号橋）①

RCT桁橋

橋長:30.40m、幅員6m

2径間

1965年竣工(59年経過)。

2級村道下宿・弥栄線

判定区分[II]

健全度ランク[C(3)]



起点側



左側

54. 中川橋③

RCT桁橋

橋長:26.84m、幅員6m

2径間

1966年竣工(58年経過)

村道 桟内・踏切線

判定区分[II]

健全度ランク[C(3)]



起点側



右側

27. 中野橋②

PCI桁橋

橋長:11.90m、幅員5.25m

1径間

1972年竣工(52年経過)

村道 二ツ堂線

バス路線

判定区分[II]

健全度ランク[C(3)]

管理区分[B]（事後保全型）から管理区分[A]（予防保全型）に変更する橋梁（抜粋）

7) 撤去・集約化、費用縮減に関する計画について

以下の9橋は、水路（底面幅1.5m以下）を跨ぐ小規模なRC床版橋であるため、各管理区分に応じて対策が必要となった段階で、溝橋定義外（管理外）となる橋長2m未満のボックスカルバートに架け替えの検討を行い、このことを前提に経過観察を行うことで、補修費用及び架け替え後の管理費用の削減を図ります。

【溝橋定義外（管理外）のボックスカルバート化を検討する橋梁（計9橋）】

- ・判定区分[II]・健全度[C(3)]：6橋（RC床版橋）。

45. 4-7号橋：橋長2.10m、底面幅1.5m。前述6)で管理区分[B]⇒[A]（予防保全型）に変更。

14. 4-9号橋：橋長2.08m、底面幅0.8m。前述6)で管理区分[B]⇒[A]（予防保全型）に変更。

9. 3-1号橋：橋長2.58m、底面幅1.1m。前述6)で管理区分[B]⇒[A]（予防保全型）に変更。

41. 4-4号橋：橋長2.36m、底面幅1.0m。管理区分[C]（経過観察型）。

39. 4-3号橋：橋長2.23m、底面幅1.0m。管理区分[C]（経過観察型）。

42. 4-5号橋：橋長2.20m、底面幅1.2m。管理区分[C]（経過観察型）。

- ・判定区分[I]・健全度[B(2)]：3橋（RC床版橋）。

48. 5-3号橋：橋長2.20m、底面幅1.3m。前述6)で管理区分[B]⇒[A]（予防保全型）に変更。

8. II-2号橋：橋長2.32m、底面幅1.5m。前述6)で管理区分[B]⇒[A]（予防保全型）に変更。

29. I-6号橋：橋長2.20m、底面幅1.3m。管理区分[C]（経過観察型）。



起点側



終点

起点

45. 4-7号橋
判定区分[II]
健全度[C(3)]
管理区分[B]⇒[A]
(予防保全型)に変更
RC床版橋、橋長:2.10m
1972年竣工(52年経過)
村道中宿・山寺線
バス路線
水路下面幅：1.5m



起点側



起点

終点

14. 4-9号橋
判定区分[II]
健全度[C(3)]
管理区分[B]⇒[A]
(予防保全型)に変更
RC床版橋、橋長:2.08m
1955年竣工(69年経過)
1級村道新田・燕内線
水路下面幅：0.8m



終点側



終点

起点

42. 4-5号橋
判定区分[II]
健全度[C(3)]
管理区分[C]
(経過観察型)
RC床版橋、橋長:2.20m
1972年竣工(52年経過)
1級村道堂ノ下・新田線
水路下面幅：1.2m

溝橋定義外（管理外）のボックスカルバート化を検討する橋梁（抜粋）

8) 全橋梁の優先順位一覧表

上記を考慮した橋梁全体の優先順位一覧表は添付の通りです。

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期 (5. 対策内容と実施時期)
 (・構造物の諸元、直近の点検結果及び次回点検年度)
 (・対策内容、対策の着手・完了予定年度)
 (・対策に係る全体概算事業費) (6. 対策費用)

様式1-2に、直近10年間の概ねの計画を示します。

補修工法の選定にあたっては、NETIS等に登録され活用促進技術に指定されている新技術について、従来工法とのライフサイクルコストの比較検討を行った後に積極的に採用し、維持管理費用の縮減や再劣化防止等に努めています。

【活用促進技術に指定されている新技術の例】

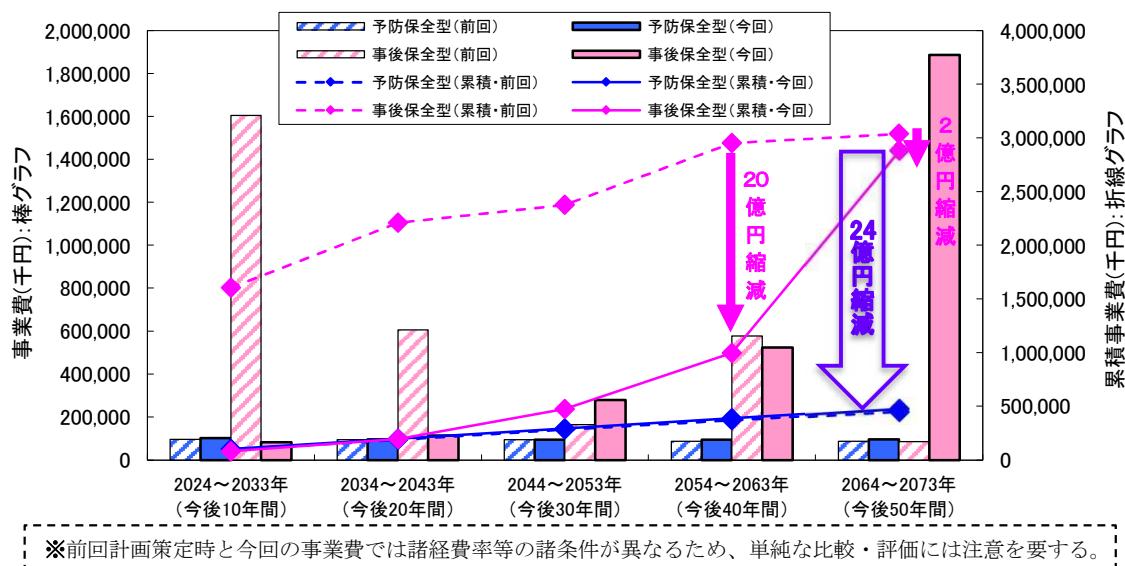
- 鋼部材の塗装（錆転換型防食塗装）。
- コンクリート部材の補修（断面修復工、表面含浸工）。
- 伸縮装置の止水・漏水対策、取替。

様式1-2、優先順位一覧表に概算の事業費を示します。

6. 長寿命化修繕計画による効果

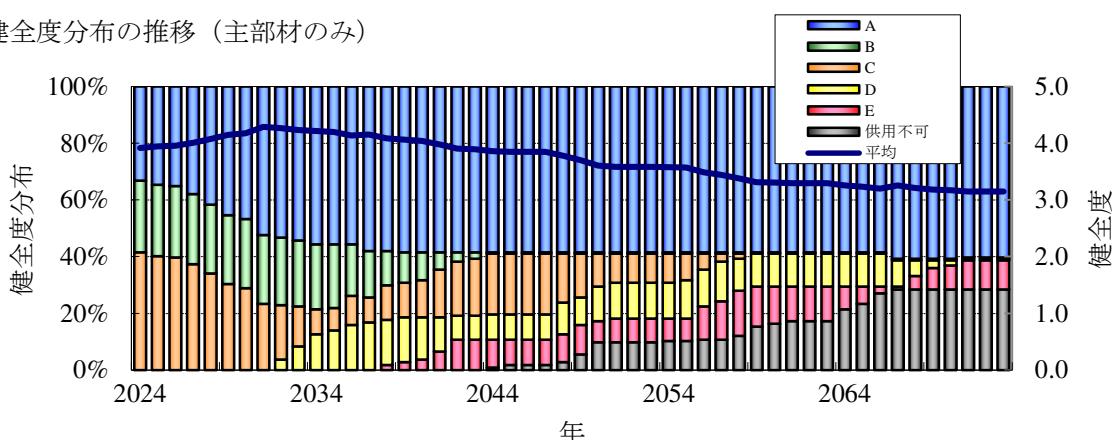
泉崎村が管理する橋梁について、点検結果を基に今後50年間での予算シミュレーションを行い、以下の結果が得られました。

長寿命化修繕計画を策定する50橋について、年間の予算制約額を0.10億円とし今後50年間の事業費を比較すると、従来の事後保全型（対症療法型）が29億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が5億円となり、コスト縮減効果は24億円（83%減）となります。



また、計画的な修繕を実施することにより、良好な健全度を維持する事が可能となり、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性及び信頼性が確保されます。

健全度分布の推移（主部材のみ）



7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署

泉崎村 建設水道課 TEL:0248-53-2114

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

日本大学 工学部 土木工学科 教授 岩城 一郎



横穴歩道橋
(1990年竣工)

【様式 1-2】

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期（直近10年間）

年間予算額：0.10億円

凡例：←→ 対策を実施すべき時期、補修部材及び補修内容を示す。

優先順位	橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	最新点検結果	管理区分	対策の内容・時期										合計(千円)※			
										R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032	R15 2033				
1	3-2号橋	1級	新田・矢吹線	3.63	1972	52	R1	II	S	点検	←→	未版:床版防水及び割れ補修&足場	点検								9,561		
2	横穴橋	1級	新田・矢吹線	34.85	1972	52	R5	II	A		←→	未版:床版防水及び割れ補修&足場	点検							点検	32,243		
3	横穴歩道橋	1級	新田・矢吹線	34.95	1990	34	R4	II	A			点検		←→	未版:床版防水及び割れ補修&足場	点検					12,666		
4	下宿橋	2級	下宿・弥栄線	30.4	1965	59	R5	II	A				点検			主部材:ひび割れ補修&断面修復&足場	点検				27,042		
5	I-1号橋	1級	踏瀬長峰・松倉線	6.6	1954	70	R1	II	A	点検				点検									
6	I-4号橋	1級	太田川・小田川線	4	1965	59	R1	II	A	点検		←→	未版:ひび割れ補修等	点検							3,011		
7	中川橋	その他	桝内・踏切線	26.84	1966	58	R5	II	A			点検								点検			
8	4-11号橋	2級	上野館・中島線	7.02	1966	58	R3	II	A		点検					点検	未版:ひび割れ補修等	点検			4,225		
9	II-7号橋	2級	狐山・長峰線	5.4	1954	70	R2	II	A		点検			←→	未版:ひび割れ補修等	点検					2,025		
10	II-6号橋	2級	下宿・弥栄線	5.2	1954	70	R2	II	A		点検			←→	未版:ひび割れ補修等	点検					1,747		
11	I-8号橋	1級	踏瀬・町中線	4	1954	70	R1	II	A	点検		←→	橋台:ひび割れ補修等	点検							1,332		
12	II-8号橋	2級	桝内・如信沢線	3.6	1967	57	R1	II	A	点検		←→	未版:ひび割れ補修等	点検							2,207		
13	I-3号橋	1級	踏瀬長峰・松倉線	8.39	1984	40	R1	II	A	点検				点検									
14	3-4号橋	1級	新田・矢吹線	7.3	1972	52	R1	II	A	点検		←→	橋台:ひび割れ補修等	点検							2,602		
15	4-10号橋	2級	上野館・中島線	2.86	1966	58	R1	II	A	点検				点検									
16	4-7号橋	その他	中宿・山寺線	2.1	1972	52	R3	II	A		点検							点検					
17	4-9号橋	1級	新田・蕪内線	2.08	1955	69	R2	II	A	点検				点検									
18	3-1号橋	1級	八丸・芦ノ口線	2.58	1973	51	R1	II	A	点検				点検									
19	中野橋	その他	二ツ堂線	11.9	1972	52	R3	II	A		点検			点検				点検					
20	III-10号橋	2級	桝内・如信沢線	4.6	1976	48	R1	II	A	点検				点検									
21	5-1号橋	2級	上町・吉子川線	3	1970	54	R2	II	A	点検		←→	橋台:ひび割れ補修等	点検							457		
22	II-1号橋	2級	踏瀬長峰・高屋原線	2.39	1955	69	R1	II	A	点検		←→	未版:ひび割れ補修等	点検							1,127		
23	新田橋	その他	中島・川向線	33.45	1967	57	R5	II	B				点検						点検				
24	礼堂橋	その他	下礼堂・下夏針線	27.2	1968	56	R4	II	B				点検					点検					
25	高屋橋	その他	上根岸・豆田線	26.7	1968	56	R5	II	B				点検					点検					
26	4-1号橋	その他	柳原・板橋線	5.6	1972	52	R3	II	B		点検				点検	橋台:断面修復等	点検				402		
27	II-3号橋	その他	大堤下・上長峰線	6.02	1982	42	R3	II	B		点検			点検							197		
28	II-7号橋	その他	京塚線	7	1996	28	R3	II	B		点検			点検							440		
29	II-9号橋	2級	桝内・如信沢線	3.4	1967	57	R2	II	B		点検			←→	橋台:断面修復等	点検					725		
30	4-2号橋	その他	中島・新田原線	5.05	1972	52	R3	II	B		点検			点検									
31	I-5号橋	その他	居平・中内線	3.22	1965	59	R2	II	C		点検				点検								
32	3-12号橋	その他	大小踏切桝内線	2.41	1972	52	R2	II	C		点検				点検								
33	4-4号橋	その他	堂ノ下・新田線	2.36	1972	52	R3	II	C		点検			点検									
34	5-8号橋	その他	明地線	2.6	1972	52	R3	II	C		点検			点検									
35	5-6号橋	その他	愛宕町線	2.3	1972	52	R3	II	C		点検			点検									
36	4-3号橋	その他	中島・川向線	2.23	1972	52	R2	II	C		点検				点検								
37	4-5号橋	その他	堂ノ下・新田線	2.2	1972	52	R3	II	C		点検			点検									
38	II-4号橋	その他	中核工業団地6号線	6.7	1994	30	R3	II	C		点検				点検								
39	根岸橋	1級	高屋原・踏瀬線	27.6	1995	29	R4	I	A				点検							点検			
40	I-7号橋	1級	踏瀬・下新城線	6.5	1954	70	R4	I	A				点検							点検			
41	5-3号橋	その他	愛宕町・閑ノ上線	2.2	1972	52	R4	I	A				点検							点検			
42	II-5号橋	2級	新宿・大和田線	5.3	1951	73	R2	I	A		点検					点検							
43	II-2号橋	1級	高屋原・踏瀬線	2.32	1954	70	R2	I	A		点検					点検							
44	I-6号橋	その他	新山田前・柏木沢線	2.2	1965	59	R2	I	C		点検					点検							
45	踏瀬ボックス	その他	踏瀬・赤沢線	10.16	2000	24	R5	I	C						点検					点検			
46	II-8号橋	その他	足駄作・合ヶ沢線	3.73	1972	52	R2	I	C		点検					点検							
47	5-7号橋	その他	石名沢・太郎ヶ岡線	2.9	1972	52	R4	I	C				点検							点検			
48	II-6号橋	その他	広久保線	3.1	1989	35	R4	I	C				点検							点検			
49	5-5号橋	その他	宮ノ前・屋中線	4.7	2001	23	R4	I	C				点検							点検			
50	3-11号橋	その他	八丸北線	5.6	1967	57	R4	I	B				点検							点検			
			合計 (千円)													9,560	18,852	9,914	9,177	8,809	9,437	9,218	13,521

優先順位一覧 制約0.10億円

■:健全度E(5) ■:健全度B(2)
■:健全度D(4) ■:健全度A(1)
■:健全度C(3)

番号	橋梁名	諸元								重要度評価指標						総合評価指標				部材健全度		優先順位指標 (A+100+B)	優先順位	管理区分	管理区分内訳								今後50年補修費用			橋梁名					
		橋長 (m)	径間 数	上部工 使用材料	上部工 構造形式	車道員 (m)	竣工 年	経過 年	緊急輸送路	道路等級	緊急輸送路	橋長	車道員	道路区分	バス路線	交差 条件	重要度 合計 (A)	耐荷性	災害 抵抗性	走行 安全性	平均 (B)	部材 種別	健全度 ランク	緊急輸送路	道路区分	バス路線	該当 数	評価 ①	交差 条件	評価 ②	橋長 5m未満	カルバート 特異形式	評価 ③	余寿命 (年)	今後5年 (百万円)	残り (百万円)	合計 (百万円)				
0010	3-2号橋	3.63	1	RC橋	RC構造(BOXカルバート)	7.80	1972	52	第2次確実路線	1級	5	0	10	10	0	10	35	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	85.0	1	S	○	○	-	2	A	○	S	○	○	C	-	9.6	0.0	9.6	3-2号橋
0011	横穴橋	34.85	1	鋼溶接橋	桁(不明)	8.00	1972	52	第2次確実路線	1級	5	5	10	10	0	0	30	35.0	30.0	45.0	36.7	床版	C(3)	93.3	2	A	○	○	-	2	A	-	-	-	-	B	50以上	28.3	3.9	32.2	横穴橋
0055	横穴歩道橋	34.95	1	鋼溶接橋	桁(合成)	3.00	1990	34	-	1級	0	5	5	10	0	0	20	10.0	20.0	40.0	23.3	主部材	C(3)	96.7	3	A	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	50以上	0.0	12.7	12.7	横穴歩道橋
0017	下宿橋	30.40	2	RC橋	RC桁橋(その他)	6.00	1965	59	-	2級	0	5	10	5	0	0	20	25.0	25.0	65.0	38.3	主部材	C(3)	81.7	4	A	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	50以上	0.0	29.3	29.3	下宿橋
0002	I-1号橋	6.60	1	RC橋	RC 中実床版	9.00	1954	70	-	1級	0	0	10	10	0	0	30	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	80.0	5	A	-	○	○	2	A	-	-	-	-	B	50以上	0.0	21.7	21.7	I-1号橋
0006	I-4号橋	4.00	1	RC橋	RC 中実床版	5.55	1965	59	-	1級	0	0	5	10	0	0	25	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	75.0	6	A	-	○	○	2	A	-	-	○	-	C	50以上	3.0	0.0	3.0	I-4号橋
0054	中川橋	26.84	2	RC橋	RC桁橋(その他)	6.00	1966	58	-	その他	0	5	10	0	0	0	15	30.0	50.0	65.0	48.3	主部材	C(3)	66.7	7	A	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0	中川橋
0024	4-11号橋	7.02	2	RC橋	RC構造(BOXカルバート)	8.00	1966	58	-	2級	0	0	10	5	0	0	15	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	65.0	8	A	-	○	-	1	B	-	-	○	-	C	50以上	0.0	4.2	4.2	4-11号橋
0019	III-7号橋	5.40	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1954	70	-	2級	0	0	5	5	0	0	10	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	60.0	9	A	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	50以上	0.0	2.0	2.0	III-7号橋
0018	III-6号橋	5.20	1	RC橋	RC 中実床版	3.50	1954	70	-	2級	0	0	5	5	0	0	10	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	60.0	10	A	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	50以上	0.0	1.7	1.7	III-6号橋
0001	I-8号橋	4.00	1	RC橋	RC 中実床版	5.60	1954	70	-	1級	0	0	5	10	0	0	25	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	60.0	11	A	-	○	○	2	A	-	-	○	-	C	50以上	1.3	0.0	1.3	I-8号橋
0020	III-8号橋	3.60	1	RC橋	RC 中実床版	5.06	1967	57	-	2級	0	0	5	5	0	0	10	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	60.0	12	A	-	○	-	1	B	-	-	○	-	C	50以上	2.2	0.0	2.2	III-8号橋
0004	I-3号橋	8.39	1	RC橋	RC構造(BOXカルバート)	8.40	1984	40	-	1級	0	0	10	10	0	0	30	70.0	90.0	50.0	70.0	床版	C(3)	60.0	13	A	-	○	○	2	A	-	-	○	-	C	50以上	0.0	4.8	4.8	I-3号橋
0012	3-4号橋	7.30	1	PC橋	PC床版橋(その他)	9.20	1972	52	第2次確実路線	1級	5	0	10	10	0	0	25	65.0	40.0	95.0	66.7	下部工	C(3)	58.3	14	A	○	○	-	2	A	-	-	-	-	B	50以上	2.6	0.0	2.6	3-4号橋
0023	4-10号橋	2.86	1	RC橋	RC構造(BOXカルバート)	7.50	1966	58	-	2級	0	0	10	5	0	0	25	70.0	90.0	50.0	70.0	床版	C(3)	55.0	15	A	-	○	○	2	A	-	-	○	-	C	50以上	0.0	3.7	3.7	4-10号橋
0045	4-7号橋	2.10	1	RC橋	RC 中実床版	7.55	1972	52	-	その他	0	0	10	0	0	0	20	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	55.0	16	A	-	-	○	1	B	-	-	○	-	C	50以上	0.0	0.0	0.0	4-7号橋
0014	4-9号橋	2.08	1	RC橋	RC 中実床版	5.02	1955	69	-	1級	0	0	5	10	0	0	15	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	50.0	17	A	-	○	-	1	B	-	-	○	-	C	50以上	0.0	0.0	0.0	4-9号橋
0009	3-1号橋	2.58	1	RC橋	RC 中実床版	5.50	1973	51	-	1級	0	0	5	10	0	0	15	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	50.0	18	A	-	○	-	1	B	-	-	○	-	C	50以上	0.0	0.0	0.0	3-1号橋
0027	中野橋	11.90	1	PC橋	PC桁橋(その他)	5.25	1972	52	-	その他	0	0	5	0	10	0	15	70.0	90.0	50.0	70.0	床版	C(3)	45.0	19	A	-	-	○	1	B	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0	中野橋
0022	III-10号橋	4.60	1	RC橋	RC構造(BOXカルバート)	7.00	1976	48	-	2級	0	0	10	5	0	0	15	70.0	90.0	50.0	70.0	床版	C(3)	45.0	20	A	-	○	-	1	B	-	-	○	-	C	50以上	0.0	5.7	5.7	III-10号橋
0025	5-1号橋	3.00	1	RC橋	RC構造(BOXカルバート)	3.40	1970	54	-	2級	0	0	5	5	0	0	10	65.0	40.0	95.0	66.7	下部工	C(3)	43.3	21	A	-	○	-	1	B	-	-	○	-	C	50以上	0.5	0.0	0.5	5-1号橋
0015	II-1号橋	2.39	1	RC橋	RC構造(BOXカルバート)	5.50	1955	69	-	2級	0	0	5	5	0	0	10	70.0	90.0	50.0	70.0	床版	C(3)	40.0	22	A	-	○	-	1	B	-	-	○	-	C	50以上	0.0	0.0	0.0	II-1号橋
0040	新田橋	33.45	2	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	5.00	1967	57	-	その他	0	5	5	0	0	0	10	10.0	20.0	40.0	23.3	主部材	C(3)	86.7	23	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	43	0.0	284.3	284.3	新田橋
0028	礼堂橋	27.20	2	PC橋	PC 床版橋(その他)	4.00	1968	56	-	その他	0	5	5	0	0	0	10	35.0	30.0	45.0	36.7	床版	C(3)	73.3	24	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	44	0.0	1.2	1.2	礼堂橋
0031	高屋橋	26.70	2	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	2.00	1968	56	-	その他	0	5	0	0	0	0	5	20.0	70.0	40.0	43.3	主部材	C(3)	61.7	25	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	44	0.0	0.0	0.0	高屋橋
0046	4-1号橋	5.60	1	RC橋	RC 中実床版	3.70	1972	52	-	その他	0	0	5	0	0	0	5	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	55.0	26	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	48	0.0	0.4	0.4	4-1号橋
0030	II-3号橋	6.02	1	RC橋	RC 中実床版	3.50	1982	42	-	その他	0	0	5	0	0	0	5	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	55.0	27	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.2	0.2	II-3号橋
0035	II-7号橋	7.00	2	RC橋	RC 中実床版	2.50	1996	28	-	その他	0	0	0	0	0	0	60	60.0	50.0	50.0	50.0	床版	C(3)	50.0	28	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.4	0.4	II-7号橋
0021	III-9号橋	3.40	1	RC橋	RC 中実床版	5.30	1967	57	-	2級	0	0	5	5	0	0	10	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	45.0	29	B	-	○	-	1	B	-	-	○	-	C	43	0.0	0.7	0.7	III-9号橋
0043	4-2号橋	5.05	1	RC橋	RC桁橋(その他)	5.00	1972	52	-	その他	0	0	5	0	0	0	5	45.0	55.0	90.0	63.3	主部材	C(3)	41.7	30	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	48	0.0	0.0	0.0	4-2号橋
0026	I-5号橋	3.22	1	PC橋	プレテンT桁	4.15	1965	59	-	その他	0	0	5	0	0	0	5	40.0	30.0	90.0	53.3	主部材	C(3)	51.7	31	経	C	-	-	0	C	-	-	○	-	C	50以上	0.0	0.0	0.0	I-5号橋
0038	3-12号橋	2.41	2	RC橋	RC構造(BOXカルバート)	2.20	1972	52																																	